

北海道議會時報

特集 第2回臨時道議會

第18卷第12号

昭和41年12月



北海道議會事務局

----- 第 12 号 目 次 -----

議 会 の 動 き

第2回臨時道議会	1
本 会 議	1
議会運営委員会	6
常 任 委 員 会	7
特 別 委 員 会	14
石炭対策特別委員会	
道庁舎建設調査特別委員会	
災害対策特別委員会	

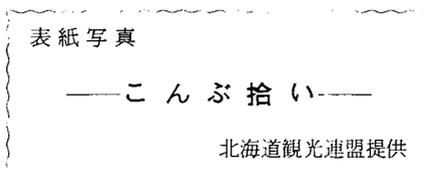
会 合

10都道府県議会議長会	19
-------------	----

資 料

第3回定例道議会の議決を経た条例の公布調	20
大臣・次官一覽	20

11 月 の メ モ



第2回臨時道議会

- ① 冷害対策審議のため開かれた第2回臨時道議会は、12月12日招集され、同日開会、会期を13日まで2日間に決定、ついで11億7,607万円余の補正予算が上程され、知事から、第3回定例会以後今日までの冷害対策についての中央折衝の経過と対策の概要ならびに提案説明を行なったあと代表質問を行ない、本件を災害対策特別委員会に付託し、翌13日これらの案件を可決して閉会した。
- ② 提出案件の処理状況はつぎのとおり。

提出者	提出件数	議決の状況				計
		原案可決	承認議決	承認の報告	報告	
知事	10	2	2	6	10	
議員	—	—	—	—	—	
合計	10	2	2	6	10	

○12月12日 午後1時20分開議、岩本議長、第2回臨時道議会の開会を宣し、引き続き開議、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、日程第2会期決定の件を議題とし、会期を12月12日から13日までの2日間に決定、つぎに日程第3災害対策調査の件を議題とし、西島災害対策特別委員長(自民)から、現在までの調査の経過および結果について中間報告、つぎに日程第4議案第1号、第2号、報告第1号および第2号を議題とし、知事から提案説明を聴取の後、代表質問に入り、

亀井議員(社会)から、冷害対策の諸問題に関し、冷害対策に対する知事の基本的態度、共済金日あての米作は自殺行為という意味の知事発言ならびに知事の行動に対する見解、道内市町村の被害額について道が圧縮の方針をとっていた事実に対する釈明および農林省統計調査事務所と道の被害調査において数字の食い違つた事由、救農土木事業の実施に関し、39年冷害に比し対象農家戸数減少の理由および被害額限定に対する配慮ならびに前向きの方策、予算措置に対する見解、市町村が補助事業として行なう土地改良事業について将来の財源補てん措置に対する見解、冷害恒久対策に関し、土地改良など土地

第2回臨時道議会に知事から提出のあつた案件

議 案			
提出月日	番号	件 名	議事経過
12.12	1	昭和41年度北海道一般会計補正予算	12. 13 原案可決
同	2	昭和41年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算	同

同	5	専決処分報告の件(保健所設置条例等の一部を改正する条例 11月30日専決処分)	同
同	6	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定 11月4日専決処分)	同
同	7	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定 11月25日専決処分)	同
同	8	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定 12月2日専決処分)	同

報 告			
提出月日	番号	件 名	議事経過
12.12	1	専決処分報告につき承認を求める件(昭和41年度北海道補正予算 11月21日専決処分)	12. 13 承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件(昭和41年度北海道補正予算 11月29日専決処分)	同
同	3	昭和41年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件	報 告
同	4	昭和41年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件	同

基礎整備事業について道自体の年次別事業計画の有無、これが策定の時期および財政的見通し、酪農近代化計画に関し、諸対策実現のための財政計画の明示、農家固定化負債解消方策および見通し、農業金融の一元化構想に対する見解および新制度を検討したものの明示等について質問、知事から答弁、亀井議員らから再質問、知事から答弁、つぎに

西野議員(自民)から、冷害応急、恒久対策に関し、天災資金、自前資金の完全な活用方策、農家固定化負債整理に対する所信、冷害地の中小商工業者に対する融資条件、融資手続き改善に対する見解、冷害による市町村財政の実態把握および将来の援助措置、恒久対策実現の内容および重点事項の経過、冷害克服のための指導対策、酪農振興対策に対する所信等について質問、知事から答弁があつて、通告の質問を終結、ついで議案第1号、第2号および報告第1号を災害対策特別委員会に、報告第2号を農務委員会にそれぞれ付託、つぎに日程第5請願第265号、陳情第877号ないし第880号を議題とし、異議なく災害対策特別委員会に付託することに決定して、午後3時26分散会。

知事説明要旨

ただいま議題となりました冷害対策関係補正予算案についてご説明申し上げます。第3回定例会以後、今日までの冷害対策についての中央折衝の経過とその対策の概要についてご報告申し上げます。

今次冷害による農作物の作況等につきましては、さきに9月20日現在をもつて調査した結果について、その概況をご報告申し上げたところでありますが、その後10月上旬の降霜等により被害額が増加し、10月20日現在の調査結果によりますと、被害総額は610億円余に達するに至つたのであります。

このような被害の実態にかんがみ、道といたしましては、これが対策に万全を期しますため関係機関、関係諸団体等とも十分な連繫を保ちながら、総力をあげて具体的な諸対策の実施について検討し、その推進を図るとともに、国に対し所要の措置を強く要望してまいつたのであります。

一方、政府各省庁をはじめ、国会においても冷害の実態を深く憂慮され、政府は農林政務次官等を、また、衆参両院においても、それぞれ災害対策特別委員を派遣され、つぶさに現地の状況を視察し、対策の推進に格段の配慮を示されたのであります。

この結果、天災融資法に基づく天災指定、激甚災害法に

請願・陳情

第2回臨時道議会において特別委員会に付託された請願、陳情はつぎのとおりである。

請願

文書番号表	件名	請願者	付託委員会	審査の結果
265	冷害対策実施の件	十勝地区開拓農業協同組合会長 児玉三作	災害対策特別委員会	継続審査

陳情

文書番号表	件名	陳情者	付託委員会	審査の結果
877	昭和41年冷害による農作物被害対策の件	後志地方農業委員会 藤田利三郎	災害対策特別委員会	継続審査
878	昭和41年農畜産物冷害対策の件	石狩地区冷害対策本部 森正男	同	同
879	冷害等による商工業者に対する特別金融措置の件	北海道商工会連合会 会長 菊地寅藏	同	同

880	冷害に関する諸対策の件	十勝市町村冷害対策本部長 中島国男	同	同
-----	-------------	-------------------	---	---

基づく激甚災害指定等の措置を講ずるとともに、救農土地改良事業の実施、天災資金、自作農資金等の融通、農作物再生産用種子の確保、中小企業金融対策等について一応の見通しを得るに至りましたので、早急に諸般の対策を取り進めて、被害農家の生活安定と営農に遺憾のないようにいたしてまいりたいと存じます。

この機会に議員各位のご尽力に対し、深く感謝申し上げます次第であります。

つぎに、今回提案いたしました補正予算についてご説明申し上げます。

まず、救農土木事業につきましては、既に道および市町村において7億3,000万円の予算措置を講じ、それぞれ事業を実施中ですが、被害額の増加に伴い、さらに特別就労対策が必要となりましたので、その事業費総額5,200万円のうち、市町村営事業費を1,700万円と見込み、道営事業の所要額として3,500万円を追加計上いたしますとともに、今回新たに国庫補助による土地改良救農事業を実施することとなりましたに伴い

団体営土地改良冷害対策事業費 1億3,530万円
を計上いたしました。

また、再生産に必要な種子の確保を図るため、種子購入費に対し助成を行なうこととし

農作物再生産用種子対策事業費 3億7,687万円
飼料作物再生産用種子対策事業費 822万円
を計上するとともに、越冬用飼料に充てるビートパルプ購入費ならびに飼料の不足を補填する稲わらの輸送費に補助することとし

越冬用飼料対策事業費 2,750万円
を計上いたしました。

つぎに、金融対策といたしましては、冷害により農家売掛金の固定化など、中小企業者の資金繰りにかなりの影響を与えますので、政府関係機関10億円、市中金融機関15億円、合計25億円の融資枠をもつて、冷害関係中小企業の特例融資を実施することといたしておるのでありますが、このうち市中金融機関の融資枠15億円の資金源として、北海道信用保証協会に対する

中小企業維持振興資金貸付金 5億円
を計上して資金融通の円滑化を図ることといたしました。

また、冷害により土地改良区の賦課金の徴収が困難となることに伴い、土地改良区に対し、つなぎ資金を貸付して健全なる運営に資するため

土地改良事業推進資金貸付金 3,500万円
を計上いたしますとともに、被災開拓農家が借り入れた開拓保証資金の負担軽減を図るため、支払い期限延長に伴う利子補給の措置を講ずることとし、この経費として

開拓保証資金期限延長利子補給費 395万円
を計上いたしました。

以上のほか、今次冷害に伴う天災融資法の適用にかかる

災害資金の融通について、利子補給ならびに損失補償の措置および被害米作農家に対する政府払い下げ飯米の買い受けに関連する所要の措置ならびに中小企業者に対する融資保証について損失補償の措置および融資保証に伴う保証料の補給に関する措置を講ずるため、それぞれ債務負担行為することとした次第であります。

つぎに、保健医療関係につきましては、冬期間および来春にかけて冷害地に多発を予測される各種疾病の予防と、特に乳幼児、妊産婦等の健康を保持するため、冷害地に巡回診療等を実施することとし、新たに

へき地移動保健医療対策費 584万円
を計上し、また、民生安定対策としては、生活保護等の適正な運用を図るため
福祉事務所活動費 311万円
を計上いたしました。

つぎに、教育関係につきましては、冷害に伴い市町村が行なう要保護および準要保護児童生徒に対する学用品、修学旅行費ならびに給食費の給与に対し補助することとし
就学奨励費 898万円
を計上いたしました。

以上は、一般会計補正予算案の概要について申し上げたのでありますが、この総額は11億7,207万円と相なるのであります。

これに見合う歳入といたしましては

国庫支出金 4億5,483万円
諸収入 5億3,904万円
道債 4億2,300万円

を追加補正するとともに

繰入金 2億4,480万円
を減額補正して、収支の均衡を図つた次第であります。

つぎに、母子福祉資金貸付事業特別会計におきましては、冷害による母子家庭対策に遺漏のないようにいたすため

母子福祉資金貸付金 400万円
を繰越金見合いに計上いたしました。

よろしくご審議のほどをお願い申し上げます。

災害対策特別委員長中間報告

私は、災害対策特別委員会に付託されました昭和41年8月における集中豪雨災害等の復旧対策の件および昭和41年における異常気象による冷害対策の件につきまして、現在までにおける調査の経過および結果について、その概要をご報告申し上げます。

ご承知のとおり、本年8月17日から21日にかけて発生した集中豪雨により、その被災地域は127市町村の広範な地域にわたり、人的被害のほか、住宅の流失、浸水、田、畑の

冠水、堤防、道路等の決壊等甚大な被害をこうむるに至り、その被害額は、9月15日現在170億円余の多きに達したのであります。さらに、春以来の融雪の遅延と6月下旬から8月中旬にかけての断続的な低温におそわれ、9月15日現在の作況によりますと、一般的におくれを示している現状にあります。特に十勝、網走、上川北部等の水稲および豆類については、かなり不良であり、相当の減収が予想されるに至りましたので、本年の第3回定例会招集日の9月22日、知事から8月集中豪雨災害被害状況と道の応急措置概要ならびに農作物生育状況等について報告を聴取ののち、これら対策を樹立し、その推進をはかることを目的として本委員会が設置された次第であります。

委員会は、設置当日、直ちに正、副委員長の互選を行ない、9月24日の委員会におきましては、さきに報告いたしましたとおり、専決処分にかかるものを除き総額12億6,695万円に上る災害復旧関係予算案を先議し、これを可決決定するとともに、とりあえず応急を要する災害復旧対策等について、要望意見書の発議を決定し、本議会の議決を得、これに基づき国会ならびに政府関係機関に対し、諸対策の早急実現について強く要請を行なつた次第であります。なお、9月27日より衆参両院の災害対策委員等の現地調査が相ついで行なわれ、本委員会といたしまして、これら視察団に対し災害復旧対策と合わせ、冷害対策につきましても強力な施策の実現について要請を行なつた次第であります。

ついで、10月7日の委員会におきまして、災害復旧対策に対する本委員会および理事者の中央折衝等の報告を中心として熱心な論議がかわされ、ついで、9月20日現在の農作物被害状況および今会期中に提案予定の救農事業関係補正予算等の説明を聴取いたしましたのでありますが、その際被害見込額は、422億円と報告されたのであります。ついで、10月11日の本会議におきまして知事から農作物の被害現状報告および5億円の救農事業関係補正予算案の提案がなされ、同日本委員会に付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、本予算の緊急かつ重要性から同日および翌12日の委員会におきまして、さきに報告いたしましたとおり、慎重審査の結果、原案可決と決定いたしました次第であります。農作物の被害につきまして10月初旬に全道的な降霜があり、さらに被害が増大することが予想され、再調査の必要があることから、とりあえず被害農家の再生産を確保し、生活の安定をはかるため、国の施策樹立を重点とした要望意見書の発議を決し、これが早期実現のため10月13日から中央に対し、諸対策樹立実施について強く要請するとともに、10月16日から委員を4班に分け、現地の被害状況、地元の要望等の把握のため現地調査を実施した次第であります。ついで、10月24日の委員会におきまして中央折衝および現地調査の報告を行ないますとともに、理事者から冷害対策の実施概要について説明を聴取し、被害の調査方法、資金対策、救農事業の実施、その他応急対策等

を中心に質疑応答がかわされたのでありますが、その際に理事者から9月20日以降降霜等による被害について10月20日現在をもつて再調査を実施中であり、その被害額が月末までに集計されることから、それをまつて対策を講ずることとした次第であります。

ついで、10月31日の委員会におきましては、10月28日および29日発生の上勝川水系の出水時による被害状況について理事者から説明を聴取し、本問題に対する質疑および資料の要求がなされ、ついで、理事者から10月20日現在における農作物被害概況の報告があり、あわせて中央に対する要望書案を提出され、これに対し正として被害額の算定方法等について質疑がなされたのであります。引き続き、翌11月1日および2日の委員会におきまして、被害状況および要望書を中心に被害額の調査方法、天災資金、自作農維持資金の融資希望額、貸付限度額の引き上げ、救農事業の実施等について、慎重な検討を行ない、被害総額については、610億7,000万円、天災資金については128億円、自作農維持資金については81億円として中央に要望することとし、要望事項等について、なお検討を要する点があつたのでありますが、早急に取り運ばなければ時期を失するおそれがあるところから、これが実現のため中央折衝を行なうことを決定し、11月3日より3班をもつて国会および政府関係機関に対し要請を行なつた次第であります。

ついで、11月18日の委員会におきましては、まず、十勝川水系の出水時における被害等に対する経過について理事者から説明を聴取の後、十勝川水系河川改修計画、ダム操作の問題、被害に対する補償対策等について質疑応答がなされ、ついで冷害対策に対する中央折衝の報告を行ないますとともに、理事者からその後の経過等について説明を聴取し、資金対策、救農事業実施内容と今後の見通し、学校給食対策、中小企業金融対策等の応急対策について質疑を行ない、引き続き、知事の出席を求め、冷害対策に対する臨時道議会招集の考え方、被害調査等に対する基本的態度、道と統調の調査の食い違いに対する見解、冷害対策に対する道の態度、救農事業費追加措置の考え方、中小企業金融対策、恒久対策に関し、恒久対策実施方針再検討の有無および今後の見通し、負債整理対策、本道の畑作に対する位置付けと農作物に対する共済制度確立方針等について、熱心な論議がかわされた次第であります。

なお、冷害対策について、政府におきまして、11月下旬に決定される見直しにありましたところから、要望事項の実現について中央折衝を行なうことに決定し、11月12日より国会および政府関係機関等に対し要請を行なつた次第であります。

つぎに、先ほど委員会を開きまして、本委員会および理事者の中央折衝報告ならびに今次臨時会に提出されます補正予算案について説明を聴取した次第であります。つぎに、本年の8月集中豪雨災害ならびに冷害対策に関する要望事

項の経過の概要について申し上げますと、まず、天災融資法に基づく天災指定ならびに激甚災害法に基づく激甚災害の指定につきましては、それぞれ決定し、すでに政令をもって公布され、また、天災資金、自作農資金等の融資枠および貸付限度額の引き上げにつきましては要望額に達しなかつたのでありますが、それぞれ決定をみている次第であります。

つぎに、災害復旧工事の早期実施、国費補助による救農事業等の実施、農産物検査規格の特例、昭和41年産米の時期別格差適用期間の延長等につきましては、おおむね、要望どおり決定をみており、また、農業共済金につきましても現在農林省において年内支払いするよう進められている次第であります。

つぎに、民生対策、中小企業金融対策、就学援助、学校給食等の教育対策等の問題につきましては、一部未決定のものもありますが、一応の見通しを得た次第であります。

以上、本委員会設置以来の調査経過ならびに結果の概要について申し上げたのでありますが、農業関係資金に対する貸付条件等の緩和、恒久対策等、今後さらに強力に推進してまいらなければならぬ問題が残されているのでありまして、本委員会といたしましては、引き続きこれらについて最大の努力を尽くしてまいりたいと存じている次第であります。

以上、本委員会における今日までの調査経過と結果を申し上げます、私の報告を終わります。

○12月13日 午後4時50分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時51分休憩、午後5時16分再開、諸般の報告の後、日程第1議案第1号、第2号、報告第1号および第2号を議題とし、西島災害対策特別委員長(自民)から、議案第1号、第2号および報告第1号について、奥野農務委員長(自民)から、報告第2号について、それぞれ委員会における審査の経過および結果について報告があり、異議なく委員長報告のとおり、議案については原案可決、報告については承認議決、つぎに閉会申請願、陳情審査の件を議題とし、災害対策特別委員長申し出のとおり閉会中継続審査に付することに決定して、今臨時会に付議された案件のすべてを議了、岩本議長から閉会のあいさつがあつて、午後5時25分閉会。

災害対策特別委員長報告

私は、災害対策特別委員会に付託されました議案第1号昭和41年度一般会計補正予算ならびに議案第2号昭和41年度母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算ならびに報告第1号専決処分報告につき承認を求める件の3件につきまして、その審査経過ならびに結果についてご報告申し上げます。

す。

ご承知のとおり、本件は冷害関係補正予算ならびに専決処分案件でありまして、補正予算は専決処分に係るものを除き一般会計、特別会計合わせて総額11億7,607万円と相なつております。

委員会といたしましては、本件の緊急かつ重要性にかんがみ、すみやかに結論を得て、その執行に支障を来たさないようにいたすこととし、本日の委員会におきまして慎重に審査を行なつた次第であります。まず本件に対する質疑を通じ論議の対象となりました主たる事項を申し上げますと、

自作農資金の貸付運用方法、農家負債整理対策に関連し、負債整理対象額および制度別資金内容、第2種兼業農家に対する冷害応急対策、農業気象施設の整備拡充対策、農業試験研究機関の整備強化に対する見解、国費補助による救農事業に関連し、市町村負担に対する財政援助措置、酪農地帯に対する応急対策の具体的内容、融資要望額と決定額の不足額に対する考え方、貸付限度額引き上げに伴う再調査実施の有無、11月25日発生した豊富町における水害対策、知事談話の新聞報道に関連し冷害恒久対策に関する知事の施政方針、特に北限地帯の米作に対する考え方、冷害対策予算実施に伴い予算計上額に不足を生じた場合の増額措置、実態に応じた制度資金償還猶予措置および指導方針、生活保護対策に関連し、民生委員等に対する指導と調査段階における支庁と市町村の連携強化対策、負債整理対象額の具体的見方と知事任期中におけるこれが対策樹立の有無等でありまして、これらを中心に熱心な論議が、かわされた次第であります。

しかし、質疑終結後、各党代表者間におきまして意見調整をはかりましたうえ、さきほどの委員会におきまして、いずれもその内容を適切なるものと認め、議案第1号および第2号については原案可決、報告第1号については承認議決と決定いたしました次第であります。なお、議案第1号および第2号につきましては、審査の経緯にかんがみ、つぎの意見、すなわち

1 冷害諸対策の実施に際しては被害農家の実情に即応した適切な措置をとること。

このために資金ならびに予算増額などが必要になつたときはこれに対応した措置をとるべきである。

2 救農土木事業については、特にこの事業の本旨に従つて適正に実施すべきである。

3 連年災害の実情に鑑み、恒久的諸対策を早急かつ強力に実施するとともに、農家負債整理のための具体策をすみやかに確立すべきである。

以上3項目の付帯意見を付されたいとの動議が提出せられ全会一致、これを決定した次第であります。

以上本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げます私の報告を終わります。

議会運営委員会

○11月8日 午後3時15分、議長室において庶務小委員会を開議、午後3時31分散会、小委員長 深山和朗(自民)

- ① 次回小委員会を11月19日、大阪、兵庫等の府県調査を20日からそれぞれ実施することに決定。
- ② 傍聴規則、議事堂における秩序保持等については、調査終了後、具体的検討に入ることとし、それまで各党の意見をとりまとめておくことに決定。

○11月19日 午後1時20分、議長室において庶務小委員会を開議、午後1時24分散会、小委員長 深山和朗(自民)

- ① 議事堂の天井、壁の張り替えについては、来春改選時に改修することならびに旧議員バツジは記念品として保存してもらうことを了承。
- ② 府県の実態調査については、予定どおり、明20日から実施することを決定。

○12月5日 午後2時2分、議会運営委員会室において開議、午後2時13分散会、委員長 池田 信孝(自民)

- ① 総務部長から、第2回臨時会および第4回定例会招集問題等について説明を聴取の後、異議なく臨時会は12月12、13日の2日間開会することおよび定例会は12月15日招集すること等を了承。
- ② 第4回定例会の日程は、15日提案説明、16日休会、17日代表質問、18日休日、19日一般質問、予算委員会設置、20日から22日まで本会議を休会し、この間予算委員会の審議を行ない、23日、24日本会議を開く(会期10日間)ことを決定。

○12月12日 午前11時57分、議会運営委員会室において開議、午後零時5分散会、委員長 池田 信孝(自民)

- ① 総務部長から、第2回臨時会提出議案について説明を聴取。
- ② 本日の本会議は、まず、日程第1会議録署名議員の指定、つぎに日程第2会期決定の件は、12日から13日まで2日間を決定し、日程第3災害対策調査の件は、今日までの調査経過等について委員長から中間報告を聴取、日程第4議案第1号、第2号、報告第1号および第2号は、知事から提案説明を聴取ののち、質疑に入り、亀井議員(社会)60分、西野議員(自民)20分の順序で行ない、質疑終了後議案第1号、第2号および報

告第1号は災害対策特別委員会に、報告第2号は農務委員会に付託、日程第5請願第265号、陳情第877号ないし第890号は災害対策特別委員会に付託する、以上の順序で議事を進めることに決定。

- ③ 去る10月19日焼失した八雲高校の概要報告等については、第4回定例会の冒頭に取り扱うことに決定。

○12月13日 午後4時56分、議会運営委員会室において開議、午後5時散会、委員長 池田 信孝(自民)

本日の本会議は、日程第1議案第1号、第2号、報告第1号および第2号で災害対策特別委員長、農務委員長から、委員会における審査経過等の報告後、いずれも委員長報告のとおり、議案については原案可決、報告については承認議決、つぎに閉会申請額、陳情継続審査の件を議決して閉会する、以上の順序で議事を進めることに決定。

常任委員会

総務委員会

○11月7日 午後2時17分、第5委員会室において開議、午後2時46分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第868号 札幌市内における交通信号機設置の件
(採択)

一般議事

- ① 池田(信)委員(自民)から、府県の青少年対策施設整備状況視察ならびに恩給、地方公務員共済制度の改善等に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 地方公務員共済制度の改善および寒冷地手当増額の件については、今後引き続き強力に折衝する必要があるため、中央情勢をはあくのうえ、日程等を理事会で協議し取り進めていくことを了承。
- ③ 総務部長から、40年度道決算概要について説明を聴取の後、
村本委員(社会)から、40年度より41年度が伸長を示した具体的理由
について質疑、総務部長から答弁。
- ④ 上ノ国および南富良野両村の町制施行実態調査を、12月3日から4日に変更実施することに決定。

○12月5日 午後1時30分、第1委員会室において開議、午後1時55分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第855号 空知郡南富良野村に町制施行の件
(採択)

第872号 桧山郡上ノ国村に町制施行の件(採択)
なお、本陳情の現地調査の経過に関し、津川委員(諸派)から南富良野村、池田(信)委員(自民)から上ノ国村について報告、ついで総務部長から意見を聴取し、異議なくこれを了承。

一般議事

人事委員長から、41年職員の給与に関する報告および給与改定に関する勧告の概要について説明を聴取。

本日聴取した陳情

手稲町を廃しその区域を札幌市に編入することについて
札幌市長

○12月12日 午前11時48分、第5委員会室において開議、午

前11時55分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

一般議事

総務部長から、第2回臨時会に提出予定の案件について説明を聴取。

厚生委員会

○11月7日 午前11時15分、第5委員会室において開議、午後3時散会、委員長 山元 ミヨ(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第826号 予防接種費を公費負担措置の件(採択)
第853号 道立有料老人ホーム設置の件(保留)

一般議事

- ① 新川委員(社会)から、原爆被爆者援護法(仮称)の制定促進に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長から、十勝管内浦幌町で発生した生活保護世帯に配分した石炭混入異物の爆発事故問題について説明を聴取の後、
青木委員(社会)から、被災者に対する補償対策および補償の決着をつける機関、
新川委員(社会)から、現物を支給した道の責任(関連して、中山委員(自民)から、故意、過失がどこにあるかということが焦点となるので、道が直接責任があるとはいえない旨、川口委員(自民)から、当事者間で円満に話し合いがつくよう努力されたい旨の発言)
等について質疑、意見および要望があり、民生部長から答弁。

③ 衛生部長から、住友弁別鉱のガス爆発事故に伴う医療対策について説明を聴取。

④ 民生、衛生両部長から、42年度主要施策について説明を聴取の後、

五十嵐副委員長(自民)から、社会福祉施設の職員給与等処遇改善に対する見解および補助金の適正運営調査の有無、冷害凶作に伴う国保税の減収程度、救急医療体制確立に対する見解、医師の新規充足対策、精神衛生センター設置およびガンセンター設置の計画、

青木委員(社会)から、社会福祉施設職員給与が改善されていないことに対する道の責任、沼田保育園に対する処置、救急医療センター体制作り、保健所歯科医師欠員補充対策、ガン対策について議会の意向を聞くことの見解、

新川委員(社会)から、不良環境地区補助金の内訳、平取の生活館の如き、簡易職業訓練施設設置の考え方等について質疑、意見および要望があり、民生部長、衛生部長から答弁。

- ⑤ 新川委員(社会)から、冷害による生活保護適用増加に対する対処方針、
道下委員(社会)から、ケース・ワーカーの配置状況等について質疑、民生部長から答弁。

○12月5日 午後1時20分、第5委員会室において開議、午後2時30分散会、委員長 山元 ミヨ(自民)

一般議事

- ① 青木委員(社会)から、神奈川、愛知、山口、宮崎各県の厚生事情視察経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長から、冷害等を要因とする生活保護落層農家、緑ヶ丘学園火災状況、養護施設収容児童の事故および道立もなみ学園における赤痢発生状況について説明を聴取の後、
新川委員(社会)から、昨年の冷害による落層世帯数、
道下委員(社会)から、現地に対する適切な指導の有無等について質疑、民生部長から答弁。
- ③ 衛生部長から、道立千歳病院の千歳市移管、道立旭川療養所の廃止および広島村赤痢集団発生問題について説明を聴取の後、
青木委員(社会)から、今後の医療機関統廃合計画、病院、療養所の廃止決定権者、廃止の理由、療養所入所患者を減少させた責任者、
道下委員(社会)から、病院等を廃止することは医療行政の後退でないか、地域基幹病院となるよう前向きの方角で考えて行くこと等について質疑および意見があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○11月4日 午後2時24分、第1委員会室において開議、午後4時2分散会、委員長 井口 奈み(社会)

一般議事

- ① 倉増委員(諸派)から、共同自家用電気施設の北電移管に関する中央折衝の経過ならびに大阪市におけるソ連商工業見本市視察の結果について、報告書により報告、異議なくこれを了承、ついで、委員長から、北電移管問題に関連し、通産局、北電と意見交換、懇談したい旨および日時、方法等について委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 商工部長から、年末金融問題に関する説明を聴取。
- ③ 企業局長から、地方公営企業法の改正の主要点に関する説明を聴取の後、

岡田委員(社会)から、管理者を特別職として議会にはかるか、再建の方法、財務関係の要領は政令で出るのが、

委員長から、政令の出る時期について質疑、企業局長から答弁。

- ④ 西島羽委員(社会)から、野沢石綿結核の閉山問題に関し、その内容、組合側と本社の意見の食い違い、現地視察の考慮方、美唄の鍾乳産業の倒産に関し、その状況、再建等についての経過等について質疑および要望があり、商工部長および商政課長から答弁、ついで、委員長から、野沢鉱山に関し、必要により現地調査を行なうこととし、時期、派遣委員等については委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 高田委員(社会)から、国内航空に関し、再建事業計画を道が了知しているか、道内ローカル線確保のため出資しながらこの事態となつたことの見解、人件費削減の方法の可否、休、廃止についての道のとるべき方策、北日本航空時代および国内航空に対する道、市町村の出資額ならびに空港の整備および管理のため国、道、市町村の使つた経費に関する資料の提出方、国内航空の真意等に対する十分な検討等について質疑、要望および要求があり、商工部長から答弁、関連して西島羽委員(社会)および委員長から、十分な資料の整備および調査について発言があつた。

○11月21日 午後1時58分、第1委員会室において開議、午後4時12分散会、委員長 井口 奈み(社会)

一般議事

- ① 商工部長から、本年の冷害による中小企業者の農家に対する売掛金の固定化等の実態について説明を聴取の後、
倉増委員(諸派)から、資料の収集対象とした被害程度、被害の少ない農家分についての調査の有無、
佐藤副委員長(自民)から、3年連続災害なので今年の枠が過少でないか、
本間委員(社会)から、固定化売掛金が実態に即応しているか、農協の売掛金を除外したことの妥当性、年末融資に対する保証協会の裏付けの有無、これらに対する今後の措置および枠増大の考え、
岡田委員(社会)から、資金需要に対し決意をもつて処置方および運用についての考慮方、
委員長から、貸し出し条件の緩和について数字は決定的なものかどうか等について質疑および要望があり、商工部長から答弁。
- ② 商工部長から、国内航空に対する出資状況等について

て説明を聴取の後、

高田委員(社会)から、再建計画に関し、諸経費の圧縮、整備基地の集中に対する所見、国内航空の増減資の方針について話し合いの有無、ローカル線運航確保についての国に対する道の方針等将来の展望、41年4月以降使用していない空港、

本間委員(社会)から、航空審議会に対する道の姿勢等について質疑および要望があり、商工部長から答弁。

農務委員会

○11月17日 午前11時13分、第1委員会室において開議、午後1時48分散会、委員長 奥野 善造(自民)

一般議事

① 村上委員(自民)から、41年産馬鈴しよでん粉価格および大豆基準価格に関する中央折衝、嶋田副委員長(社会)から、てん菜糖の買入れ価格および大豆基準価格に関する中央折衝の経過についてそれぞれ報告があり、ついで農務部長から、内容等について説明を聴取の後、

美濃委員(社会)から、糖安法改正に対する要望については、政治的な抵抗が極めて強いと思うが今後の推進、対策方針の明示、糖安法改正の検討の中で、生産費を確保するという考えに立つた措置、生産者の体制強化、一括集荷方式、直接価格支持方式についての措置、てん菜糖業の強化措置等について考慮方等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

② 農務部長から、冷害被害状況および冷害応急対策要望事項等について説明を聴取の後、

糸川委員(社会)から、下川農協加入農家の冷害被害額の把握状況および被害農家の経営資金等の所要額、農協と開協の合併に対する判断、下川町における今後の農政のビジョン、

天谷委員(自民)から、救農土木事業に関し、枠の第一次配分は全部出したのかどうか、飼料にならないといわれる稲わらに対する技術対策の明示、

吉田委員(自民)から、優良品種の種子確保に対する見解、

諏訪田委員(社会)から、冷害対策の作業量と超勤手当支給状態、出先の指導体制整備に対する見解等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

③ 農務部長および酪農草地課長から、北海道酪農近代化計画策定経過について説明を聴取。

④ 美濃委員(社会)から、畑作実験共済に関する実施内

容の提出、凶作に伴い共済引き受け見込み額の不足金が生じた場合の処理、共済支払い総額、酪農近代化計画に伴う資金計画の提示方

等について質疑および要望があり、農務部長から答弁。

○11月19日 午前10時53分、第1委員会室において開議、午後1時36分散会、委員長 奥野 善造(自民)

一般議事

① 北海道酪農近代化計画案に対する質疑に入り、

糸川委員(社会)から、肉牛、めん羊、馬等に必要な飼料畑に対する考え方、計画面積の民有地、官有地の区分および荒地地の区分、120万円~150万円の所得目標で経営安定できるかどうか、5年後の専業酪農家数を1万戸程度におさえた考え方、

天谷委員(自民)から、所得目標の低位および基本的な考え方、他産業との所得格差増大に対する見解、

美濃委員(社会)から、本計画実施に対する資金の裏付け措置、資金計画提示の時期および技術体系の整備に対する見解、農業も企業として位置付けされているが収支採算の合わない経営実態との食い違いに対する見解、根拠、天北地域についててん菜との結び付けを考えた体系のとり入れ、十勝地方について乳牛の飼育および換金作物を作るというような混同経営農家を増加させることの考え方、流通改善と乳価に対する見解および行政態度の明示、根室の畜産部を実験農場にすることの見解および酪農道、電気の問題等、環境整備解決のための共同化促進に対する見解、本計画の実行に当たり、年次計画の樹立、進捗状況等の報告方、

西野委員(自民)から、多頭数飼養等共同経営の形態を計画の中に入れることの見解

等について質疑、意見および要望があり、農務部長、酪農草地課長、畜産課長から答弁、本計画を今後進めるに当たり、本委員会の質疑の内容を十分理解し、実施していくこととした。

② てん菜糖売り戻し価格等に関する中央折衝を実施することに決定、時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

○12月5日 午後1時7分、第4委員会室において開議、午後2時58分散会、委員長 奥野 善造(自民)

一般議事

① 朝日委員(自民)から、てん菜糖売り戻し価格に関する中央折衝の経過について報告、ついで農務部長から説明を聴取の後、

美濃委員(社会)から、109円を上回った場合市価で売り戻すのかどうか、市価参酌方式に対する対処方針、本対策の方向に対する目途、法律改正に対する要

望意見はまとまっているか、

天谷委員(自民)から、てん菜生産者価格に対する直接助成、てん菜を増やすような抜本的措置を法の改正にあわせて中央に持ち出す考えの有無、

糸川委員(社会)から、価格補給というような要求を持ち込む決意の有無

等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

- ② 農務部長から、41年度道地方競馬特別会計における弾力条項の適用および豚コレラ発生に伴う防疫措置対策について説明を聴取の後、

嶋田副委員長(社会)から、豚コレラ発生源に対する見解、

天谷委員(自民)から、殺処分方法および殺処分をした場合の補償金額、

美濃委員(社会)から、補償金額の僅少等について質疑、畜産課長から答弁。

- ③ 美濃委員(社会)から、明年度の乳価対策に対する取組み、各作物の実際の作付け状況および損害評価額の提示、総共済掛金に事務費賦課金を含んでいるかどうか、共済金支払い額、補償価格に対する道の要求額、

黒松委員(自民)から、共済金の年内支払いの見通し、国の補正予算が成立しない場合の共済金の財源措置に対する見解、損害評価額決定の見通し、

糸川委員(社会)から、離農者の激増に鑑み、離農者の追せき調査を行なう意思の有無および本年度における離農動向のはあくの有無

等について質疑、農務部長、農政課長から答弁。

○12月12日 午後3時53分、第5委員会室において開議、午後4時3分散会、委員長 奥野 善造(自民)

付託案件の審査

報告第2号(専決処分報告につき承認を求める件)を議題とし、農務部長から説明を聴取の後、

糸川委員(社会)から、前回の委員会において殺処分手当の額が低いとの意見がでた経過もあり、これを機会に家畜伝染病予防法の改正について中央に要望するよう取り進められたい

旨要望、農務部長から答弁、委員長から応答があつて異議なく承認議決することに決定、委員長報告については、委員長一任とすることとした。

建設委員会

○11月5日 午前11時5分、第1委員会室において開議、午前11時31分散会、委員長 森 春一(自民)

一般議事

① 委員長から、前回要求のあつた『北海道建設業審議会委員名簿』の提出があつた旨を報告。

② 北海道建設業審議会第1回中間答申の内容説明および質疑等については都合により次回において審議することをはかり、山下委員(社会)から発言、委員長から応答があつて、異議なくそのことに決定。

③ 明年度開発予算要望のための中央折衝を行ない、あわせて他府県の建設事情等の視察調査を行ないたい旨をはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員ならびに日程等については、委員長に一任することとした。

④ 建築部長から、住宅5カ年計画に関し、北海道住宅対策審議会における審議状況の中間報告を聴取の後、石坂委員(社会)から、公的援助住宅の内容、民間自力建設の具体的内容、

山下委員(社会)から、住宅総需要の借家中に民間自力の借家の有無

について質疑、建築部長から答弁。

⑤ 土木部次長から、8月集中豪雨による災害についてその後の査定結果による専決の検討について説明を聴取の後、

山下委員(社会)から、3次査定による不足の理由、

橋本委員(社会)から、土建業者への発注についての対策

等について質疑および要望があり、土木部次長から答弁。

○12月6日 午前11時27分、第1委員会室において開議、午後1時32分散会、委員長 森 春一(自民)

一般議事

① 委員長から、昭和42年度開発予算要望のための中央折衝および道外建設事情視察の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 建築部長から、北海道住宅建設5カ年計画の答申について説明を聴取の後、

山下委員(社会)から、住宅総需要38万4,000戸と最近の住宅不足、過密等からの推測数との開きおよび第2期総合開発計画策定時の減失住宅数との開きについて質疑、建築部長から答弁。

③ 委員長から、北海道建設業審議会第1回中間答申に関する説明の聴取および質疑等について、休憩のうえ協議会形式で行ないたい旨をはかり、異議なくそのことに決定、午前11時32分休憩、(休憩中、本件に関し、山下委員(社会)、林(利)委員(自民)および山田委員(社会)から質疑、土木部長から答弁。)午後1時20分再開、委員長から、本件に関する今後の審議日程については、理事会に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

④ 土木部長から、8月集中豪雨による災害復旧に関

し、本春定および道東地区の災害発生に伴う専決処分についての説明を聴取。

本日聴取した陳情

古川、新沼津川の2級河川昇格について

静内町助役

農地開拓委員会

○11月8日 午後3時13分、第3委員会室において開議、
午後5時23分散会、委員長 坂下 堯(社会)

一般議事

① 農地開拓部長から、釧路支庁耕地課関係事業と協力会加盟14社との関連資料について説明を聴取の後、

井野委員(社会)から、釧路支庁以外の支庁における協力会の有無、支庁長、経済部長など監督者の服務規律上における責任の所在、進退伺提出の有無、

堀委員(社会)から、日額差額の支給されていない理由およびこのことに対する部長の関知、早期支給に対する見解、

堀田委員(自民)から、14人の業者に対し、今後開拓部として仕事をこなわせる考えの有無

等について質疑および意見があり、農地開拓部長、総務課長から答弁。

② 中西副委員長(自民)から、開拓営農振興対策に関する中央折衝の経過について報告があり、ついで農地開拓部長から、その後の措置経過について説明を聴取の後、

井野委員(社会)から、自民党農林部会開拓小委員会の解消した時期、本対策の進め方における知事と議長の考えの食い違い(次回委員会に知事、議長の出席方取り計らわれない旨の要求あり)

等について質疑および要求があり、農地開拓部長から答弁、委員長から応答。

③ 農地開拓部長から、開拓地農作物被害概況について説明を聴取の後、

井野委員(社会)から、冷害の実態を把握して対策を考えられたい、

原田委員(自民)から、日高支庁管内の被害について道の調査結果と現地の調査結果と食い違いはないと思うがこれに対する部長の見解

等について質疑、農地開拓部長から答弁。

④ 開拓営農振興対策に関する中央折衝について、中央情勢を勘案の上実施することとし、なお、時期、派遣委員等の決定を委員長一任とすることとした。

○12月5日 午後1時20分、第3委員会室において開議、
午後2時10分散会、委員長 坂下 堯(社会)

一般議事

① 委員長から、開拓営農振興対策に関し、前委員会以降中央に対し委員を派遣していないが、臨時国会も開催されており、時期的に折衝の必要があると思うので、委員会終了後、中央折衝に入りたい旨をはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員等については委員長に一任することとした。

② 井野委員(社会)から、開拓整備指導協会を他の外郭団体と同じように片外に出すと聞いたが、これは開拓の整備指導という政策を放棄したことを意味するか、支庁に置いて現地に密着した指導行政をすべきで、道が一方的にやるのはよくない、現状をはあくしての検討方、冷害害対策に関し、被害農家に対する貸付停滞の見解、枠を作った根拠、災害の肉付けに対する基準の不合理性および今後の改善方、個々の開拓農家の被害調査について支庁の拓殖課が直接タッチしているかどうか、末端の事情のはあく

等について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

水産委員会

○11月7日 午後1時10分、第4委員会室において開議、午
後3時25分散会、委員長 樋口 哲男(自民)

一般議事

① 委員長から、外国漁船の寄港制限ならびに専管水域設定等に関する中央折衝の経過を報告書により報告、ついで砂原副委員長(社会)から、補足報告があり、異議なくこれを了承。

② 水産部長から、沖合底引き禁止区域改正に伴う青森県との入会調整問題について説明を聴取。

③ 武藤委員(社会)から、中型サケマスはえなわ漁業の出漁開始日が三陸に比し3日間の格差がつけられているが、これが不合理改善に対する見解、釧路西港開発に伴う漁業被害補償の解決を国に働きかけることの見解、釧路港浚渫工事に関し、泥を水深10メートル位の沖に放棄しているため、魚礁、ホタテ稚貝に甚大な被害をもたらしているが、道が仲介し積極的解決策を講ずることの見解、米国の千島沖における人口地震実験のための海底爆破実験について道の受けている連絡の内容、漁業資源保護に損害をあたえた場合の補償をずる機関、知床沖における漁船遭難に関し、遺族補償、就職あつせん等について前向きの援助措置を講ずることの見解、水難救助会所員の身分保障、災害補償制度確立のため、遭難救助条例の制定に対する見解、保安庁に対し船の装備、無線の方法など予算措置を要求することの見解

等について質疑、水産部長から答弁の後、サケ、マス漁業基地問題に関する中央折衝を実施することとし、派遣委員、派遣時期等については委員長に一任することに決定。

- ④ 砂原副委員長(社会)から、安全操業問題に関し、外務省の私案に対する見解および問題の打開策、川端委員(自民)から、対策を不用意に立ててもらってはこまる、貝殻島周辺の民間協定もあることであり、現地と十分打ち合わせのうえ、慎重に対処されたい等について質疑および意見があり、水産部長から答弁。

○12月5日 午前11時25分、第1委員会室において開議、午前11時55分散会、委員長 樋口 哲男(自民)

一般議事

- ① 砂原副委員長(社会)から、中型サケ、マスはえなわ漁業の操業開始日格差廃止要望に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 武藤委員(社会)から、道東地域の水産事情視察の経過について報告、ついで砂原副委員長(社会)から補足して報告があり、異議なくこれを了承。
- ③ 水産部長から、スケトウダラ輸入問題の経過について説明を聴取の後、砂原副委員長(社会)から、富山、福井両県の固執の理由について質疑、水産部長から答弁。
- ④ 砂原副委員長(社会)から、沿海洲海域におけるソ連艦隊演習に伴う小樽底引き漁船の退去に対する方策、武藤委員(社会)から、水産庁、外務省に対し手を打つ必要性等について質疑、意見および要望があり、水産部長から答弁、本件に関し、本委員会として中央に委員を派遣し、要請することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

オホーツク海沿岸凶漁対策等について

紋別市長

文教林務委員会

○10月12日 午前11時13分、第3委員会室において父兄負担軽減問題調査小委員会を開議、午後零時36分散会、小委員長 武内 豊徳(自民)

小委員長から、休憩して協議することをはかり、異議なくそのことに決定、直ちに休憩(休憩中、PTA

の運営に対する指導、PTA予算の標準化、今後の負担軽減諸対策等について協議)、午後零時35分再開し、さらに抽出調査を実施、内容分析のうえ次期小委員会において協議することとして散会。

○10月13日 午後零時15分、第5委員会室において美術館、博物館等設置小委員会を開議、午後零時26分散会、小委員長 遠藤 英吉(社会)

小委員長から、休憩して協議したい旨をはかり、異議なくそのことに決定、直ちに休憩(休憩中、他府県美術館の施設および運営状況等調査の日程、場所等について協議)、午後零時23分再開し、休憩中協議した調査を別紙日程のとおり実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員については、小委員長に一任することとした。

○11月7日 午前11時35分、第1委員会室において開議、午後1時40分散会、委員長 大石 利雄(社会)

一般議事

- ① 亀井委員(社会)から、野幌森林公園予定区域の視察の概要ならびに林道事業の高率助成および融資条件緩和等に関する中央折衝の経過について、高橋(辰)副委員長(自民)から、第21回国民体育大会の視察の概要についてそれぞれ報告、教育長から、副委員長報告に関連し、今次国体における体操選手の死亡事故に対し、哀悼と今後の注意について発言、異議なくこれを了承。
- ② 教育長から、道立八雲高校の火災状況に関し報告を聴取の後、池田(金)委員(自民)から、被害額、建物の経過年数および管理の状況、委員長から、防火施設、設備の整備について質疑および要望があり、施設課長および教育長から答弁。
- ③ 教育長および学事課長から、高校再編成計画について説明を聴取の後、亀井委員(社会)から、地元的意思を無視しないことについての考えについて質疑、教育長から答弁。
- ④ 財務課長から、苫小牧西高校に係るPTA予算等に関する現地調査の結果について説明を聴取の後、亀井委員(社会)から、教頭の赴任時期、41年度予算編成における校長の立場、総会等における発言の内容、協議会の変則的運営についての見解、5.13のチエック行為の内容、保育館の移設および住居委員会の廃止についての考え方、校長の暴力事件についての調査方等、林(謙)委員(自民)から、予算編成上の従来との相違

点、協議会の代表者、ビラの作成者、配布の範囲等、夕張南校における5月11日の義務免等の理由、授業計画の変更等についての調査方およびこれらに対する見解等について質疑、意見および要望があり、教職員課長、施設課長、財務課長および学校教育課長から答弁。

⑤ 副委員長から、道立移管に関し、移管計画と知事部局との交渉経過および早急な移管方、

池田(金)委員(自民)から、伝書鳩の飼育に関し、学校当局の管理方法、指導の内容および徹底方、全道の状況および調査方、

林(謙)委員(自民)から、苫小牧西高における偏向教育について次回に報告方、10月21日のストライキに関する実態調査の資料提出方、違法行為に対する決意および早期処置の考え方

等について質疑、意見、要望および要求があり、教育長および学校教育課長から答弁。

○11月30日 午後零時30分、第1委員会室において開議、午後5時16分散会、委員長 大石 利雄(社会)

一般議事

① 亀井委員(社会)および高橋(辰)副委員長(自民)から、道内の教育ならびに林務事情の視察経過について、報告書によりそれぞれ報告、異議なくこれを了承。

② 遠藤委員(社会)から、道外美術館の視察経過について報告、委員長から、この問題については美術館設置期成会の代表も加えて論議されたい旨をのべ、異議なくこれを了承。

③ 公立高校の再編成計画に関し、

湯田委員(社会)から、市当局、PTA、学校の了承がなければ強行しないと声明した点に対する現地の理解が得られたかどうか、話し合いの具体的な内容、納得がない場合の計画変更の有無

について質疑および意見があり、教育長および財務課長から答弁、亀井委員(社会)、林(謙)委員(自民)および渡辺(浩)委員(社会)から発言および意見の交換があつて、本件に関する予算特別委員会における議事録調査のため午後1時40分休憩、午後3時50分再開、引き続き、

亀井委員(社会)から、予算特別委員会における結論と本日の答弁の食い違い、「強行」の理解度、地元の理解に対する判断の根拠、

湯田委員(社会)から、強行しないことについての考え方、

渡辺(浩)委員(社会)から、再編成計画のあり方についての明確な基準の有無、41間口を対象とした考え、

41間口を16間口に絞つた経緯、地域性、学区の進学率の推移および地元との話し合いの内容についての資料の提出方、問題ある現実についての処理方針等について質疑および意見があり、教育長および財務課長から答弁、渡辺(浩)委員(社会)、林(謙)委員(自民)、湯田委員(社会)および亀井委員(社会)から発言および意見の交換があつて委員長から応答。

本日聴取した陳情

公立高校適正配置計画反対について

夕張市高校対策委員長はかう市

○12月1日 午後零時43分、第1委員会室において開議、午後2時30分散会、委員長 大石 利雄(社会)

請願、陳情の審査

請願

第258号 特殊学校寮母の勤務条件改善の件

(採択)

一般議事

① 林務部長から、8月集中豪雨災害に係る治山事業の専決処分に関し説明を聴取。

② 亀井委員(社会)から、国立公園池の湯地区における施設等の許認可事務の処理状況に関する資料の提出方について要求、林務部長から答弁。

③ 教育長から、教育関係の冷害対策に関し説明を聴取の後、

湯田委員(社会)から、給食費、学用品費等の1人当たりの額、国庫補助以外の部分の負担区分、道費負担のもの等、

渡辺(浩)委員(社会)から、冷害対策についての調査方法

等について質疑および意見があり、財務課長補佐から答弁。

④ 学校教育課長から、伝書鳩の飼育状況に関する調査資料について説明を聴取の後、

池田(金)委員(自民)から、適確な指導および教育的配慮、

湯田委員(社会)から、家庭教育面の重視について質疑、意見および要望があり、学校教育課長から答弁。

⑤ 教育長および教職員課長から、さきの委員会において保留した苫小牧西高校PTA予算等に関し答弁の後、

亀井委員(社会)から、PTA運営についての今後の指導、厚生施設についての円滑な運営、管理部長の職務内容等、

林(謙)委員(自民)から、夕張南高校の教員の年休理由の変更事実、職員協議会の内容およびビラ配布の決定責任者についての調査方、苫小牧西高校のPTA予

算について職員会議で事前審査の有無、暴力事件について道教委に相談等の有無、ピラの性質、目的等についての見解、

湯田委員(社会)から、委員会として取り組む姿勢等について質疑、意見および要望があり、教育長および教職員課長から答弁。

- ⑥ 教育長および教職員課長から、10.21 闘争参加状況について説明を聴取の後、

湯田委員(社会)から、処分についての考えの有無および時期、全道庁との関連、処分をしない市の考え方、

林(謙)委員(自民)から、参加者に対し賃金カットの有無および意思、市町村教育委員会に対する指導、年休を認めた校長の有無および措置、参加報告の有無の調査方、行為を計画した者に対する措置、

亀井委員(社会)から、参加者の年休手続の有無、公正妥当な判断

等について質疑、意見および要望があり、教育長および教職員課長から答弁。

- ⑦ 委員長から、中央折衝の実施について、国の予算編成の時期との関連から、実施時期、派遣委員等を委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

特別委員会

石炭対策特別委員会

〇11月4日 午後零時17分、第1委員会室において開議、
午後1時43分散会、委員長 原田 伊曾八
(自民)

- ① 副知事(那須)から、住友奔別炭鉱のガス爆発事故に関する説明を聴取の後、

武藤委員(社会)から、石炭政策における人命救助の基本的姿勢についての見解および国に対する措置についての構え方、

西島羽副委員長(社会)から、保安第一についての労働協約に対する指導

について質疑および要望があり、副知事から答弁、なお委員長から、会社、組合に対し副委員長とともに見舞いを行なったことを報告、つぎに、商工部長から、災害の経過について説明を聴取した後、委員長から、委員外議員の発言許可についてははかり、異議なくそのことに決定し、

湯田議員(社会)から、謝礼および災害状況の説明ならびに転職者に対する補償、従業員家族の就職、人命救助具の設置、保安センターの設置方等について発言、終わつて、

武藤委員(社会)から、泉炭鉱からの転職者補償、遺族の就職、保安センターの設置、監督官の増強、保安上の措置等に対する見解、国に対する予算折衝についての考え方、臨時国会に対する要望および折衝経過、道独自の保安上の措置方、米道する通産大臣に対する折衝方、

渡辺(浩)委員(社会)から、政治経済における石炭の特異性、生産、企業維持、融資等の問題、権限ある保安等、国に対する構え

等について質疑、意見および要望があり、労政課長、職業安定課長および商工部長から答弁。

- ② 委員長から、通産大臣に対する要望事項を中心とした具体策および奔別炭鉱問題について理事会において協議することおよびこの取り進めを一任することをはかり、異議なくそのことに決定、つぎに、石炭対策要望のため中央折衝を実施することをはかり、異議なくそのことに決定、実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

奔別炭重大災害に関する要望について

日本炭鉱労働組合北海道地方本部副執行委員長

○12月13日 午後3時44分、第5委員会室において開議、
午後4時23分散会、委員長 原田伊曾八(自民)

- ① 武藤委員(社会)から、三菱茶志内鉱等の閉山問題および中小炭鉱の年末融資対策等要望のため実施した中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 商工部長および労政課長から、住友奔別鉱業所の災害に関するその後の経過について説明を聴取の後、
武藤委員(社会)から、中小炭鉱への年末融資、生活保護等に対する道の備え、前向きな決意、
渡辺(省)委員(自民)から、誘致企業の金融担保力に対する考え方、折衝の経緯および今後の措置、
渡辺(浩)委員(社会)から、中小炭鉱に対する抜本的な対策の考慮方、
西鳥羽副委員長(社会)から、中小炭鉱融資についての決定の内容および実態の適確な把握
等について質疑、意見および要望があり、商工部長および社会課長から答弁。

本日聴取した陳情

年末融資対策について

日本炭鉱労働組合北海道地方本部事務局長

道庁舎建設調査特別委員会

○11月14日 午前11時10分、第1委員会室において開議、
午前11時24分散会、委員長 吉田 定次郎(自民)

- ① 建設課長から、道庁舎建設のその後の状況について説明を聴取の後、
道下委員(社会)から、工程表に基づく工事進行状況について質疑、建設課長から答弁。
- ② 他県における庁舎内外装、壁画、付帯設備等視察のため、委員を派遣することとし、派遣委員については、委員長に一任することに決定。
- ③ 道庁舎建設状況ならびに札幌市内における代表的建築物(グランドホテル等)を委員会終了後視察することに決定。

災害対策特別委員会

○10月31日 午前11時45分、第1委員会室において開議、
午後4時42分散会、委員長事故のため副委員長 嶋田 清一(社会)

- ① 副委員長から、10月24日要求のあつた「農作物被害状況」、「統計調査事務所と道の平均単価比較表」および

「応急対策措置状況」の資料が提出あつた旨を報告。

- ② 土木部次長から、十勝川水系ダム放流による被害等について説明を聴取の後、

渡部委員(社会)から、他の一般河川における被害の有無、放流の基準およびこの変更の意思、流入量と放流の関係グラフの提示方、

美濃委員(社会)から、予報に基づく事前放流の必要性、ダム建設と河川改修等基本的な考え方、

大石委員(社会)から、糠平ダムの管理規則、放流計画の明細ならびに28日および29日の降雨量とダムの湛水量および放水の実態に関する資料の提出方、

原田委員(自民)から、国および道が管理しているダムに関する資料の提出方、管理統一の必要性およびその可能性

等について質疑、意見、要望および要求があり、土木部次長から答弁、午後4時20分休憩、午後1時45分再開。

- ③ 副知事(三枝)、農務部長および農地開拓部次長から、10月20日現在の農作物被害概況および冷害対策等について説明を聴取、ついで、副知事(三枝)、教育長、農務部長および農産園芸課長から、10月24日の委員会において答弁を求められていた事項について説明を聴取(竹内委員(社会)から議事進行に関し発言、副委員長から応答)の後、

美濃委員(社会)から、各品目別の被害量、牧草の被害算定の基礎、収穫物の質低下の評価、9月20日現在の被害と霜害、雨害、商品価値のないものの被害との支庁別対比、牧草1トン1,600円の算出基礎、農家の資金需要額、自創資金、天災資金の需要額ならびに商工関係金融に関する資料の提出方、

亀井委員(社会)から、統計調査事務所との連携の実態、水稲の平均反収のとり方および牧草の単価算定に関する資料の提出方、平均反収、牧草単価について統計調査事務所との食い違い、

坂下委員(社会)から、放牧地と採草地との草価の算定価格および販売価格、馬鈴しよの質低下に対する措置、

渡部委員(社会)から、被害額の変更、再検討の余地、統計調査事務所の発表時期および道より上回つたときの道の責任、価格について平均をとることの妥当性

等について質疑、意見、要望および要求があり、副知事(三枝)、農務部長、農産園芸課長および酪農草地課長から答弁。

○11月1日 午前11時50分、第1委員会室において開議、
午後8時16分散会、委員長事故のため副委員長

長 嶋田 清一(社会)

① 副委員長から、昨日要求のあつた「牧草の単価の積算基礎」、「主要作物の平均反収」、「9月24日現在と10月20日現在の作物別被害額の比較表」および「資金需要額調」資料の提出があつた旨を報告。

② 副委員長から、被害状況および統計調査事務所と道の被害金額の比較等、資金対策、救農土木事業、その他応急対策ならびに恒久対策に区分して審議したい旨を述べ、被害状況等に関し、副知事(三枝)から説明を聴取の後、

亀井委員(社会)から、580億円の被害額については、最終被害額として承認するものではないが、中央折衝のため一応了承する、被害農家に対する配慮等弾力的な推進方について意見および要望。

③ ついで、資金対策に関し、

美濃委員(社会)から、融資措置の必要額、再生産の可能性、制度資金の償還猶予必要額、国で措置できない部分を道で考慮方、資金対策で措置されない額、手厚い措置の具体的内容、固定化負債の解消策、

坂下委員(社会)から、自創資金の支庁別要望額および積み上げの基礎ならびに個人限度額引き上げの考え方、農民大会に対する道の態度、50数億円を限度とした資料の提出方、

竹内委員(社会)から、自創資金95%確保とは必要額に対するものか、残5%に対する措置、

朝日委員(自民)から、39年からの固定化負債に対する考え方、

大石委員(社会)から、39年度の冷害負債の固定化に対する具体的対策の方針

について質疑、意見、要望および要求があり、副知事(三枝)、農務部長および農地開拓部次長から答弁、奥野委員(自民)から議事進行の発言があつて、午後1時40分休憩、午後3時35分再開、副委員長から坂下委員要求の資料が配付のとおり提出があつた旨を報告、ついで、副知事(三枝)および農地開拓部長から休憩前の美濃委員(社会)の質疑に対する答弁の後、

美濃委員(社会)から、自創資金の使用用途、必要限度額および必要需要額、農家の対応性に対する認識、

大石委員(社会)から、法律の内容、次官通達、金融機関等の考え方についての資料の提出方、

坂下委員(社会)から、限度額決定の際あらためて需要調査する考えの有無、

亀井委員(社会)から、自創資金の枠に対する道の態度、限度額一ぱい借りている農家の支庁別戸数および限度額100万円としたときの必要資金需要額の資料の提出方

等質疑、意見、要望および要求があり、副知事(三枝)、農地開拓部次長および農務部長から答弁、林

(利)委員(自民)および大石委員(社会)から、中央折衝との関連における取り扱いについて発言および意見の交換があり、副委員長から休憩して協議したい旨を述べ、午後4時50分休憩、午後5時20分再開、引き続き、

大石委員(社会)から、中小小工業者の金融対策に関し、道費予託を行なう考えの有無、年末融資対策の措置内容、必要額の把握、固定化負債と経営資金との配分、農家生計費に占める基礎に基づく融資額変更の考え

等について質疑および要望があり、商工部次長および農務部長から答弁。

④ つぎに、救農土木事業に関し、

大石委員(社会)から、被害程度別戸数の前回調査との相違、農業経済の中で農外収入の位置付けに対する見解、就労日数の基準、1日単価の算出根拠、計画遂行の自信、連年災害と単年災害のもの取り扱い、就労しないものの理由、被害額30%~50%の支庁別開拓農家の就労必要戸数、交通費に対する配慮、客土の馬持ち2,700円の妥当性、

亀井委員(社会)から、開拓農家の就労戸数、1日1,150円、1戸当たり収入6万3,000円、馬持ち2,700円の根拠、2次配分の時期、2億9,600万円の内容、機関別支庁別の労賃供給可能額の資料提出方、団体営土地改良事業の内示時期

等について質疑、要望および要求があり、農務部長および農政課長から答弁、ついで、嶋田委員(自民)から議事進行の発言、副委員長から応答があつて、午後6時50分休憩、午後8時15分再開し、直ちに散会。

○11月2日 午後7時30分、第1委員会室において開議、
午後10時12分散会、委員長事故のため副委員長 嶋田 清一(社会)

① 副委員長から、昨日要求のあつた資料がそれぞれ配付のとおり提出があつた旨を報告。

② 副知事(三枝)から、冷害による被害額について統計調査事務所との相違等について説明を聴取。

③ 大石委員(社会)から、救農土木事業に関し、就労必要戸数のとり方、就労を希望しないものの実態、就労計画および事業量再検討の意思、前向きの方、

坂下委員(社会)から、現地調査の際要請のあつたカ所が抜けている理由、被害額30%以下に対する措置、再調査の必要性についての見解および意見、

亀井委員(社会)から、土地改良事業に重点をおく考え方、救農土木事業実施に対する姿勢

等について質疑、意見および要望があり、副知事(三枝)および農務部長から答弁、ついで、渡部委員(社会)、嶋田委員(自民)、山下委員(社会)および坂下委

員(社会)から、知事の出席、臨時議会の招集等について発言および意見の交換があり、副委員長から休憩して理事会で協議したい旨を述べ、午後9時5分休憩、午後9時50分再開、副委員長から理事会における協議結果について報告の後、本件に関し、坂下委員(社会)、大沢委員(自民)および大石委員(社会)から発言および意見の交換があった。

④ 大石委員(社会)から、学校給食について支庁別、被害程度別の欠食児童生徒数、へき地学校における完全給食、ミルク給食別の実施状況、3学級未満の実施、未実施ごとの児童生徒数、授業料、寄宿舎使用料の未納数および39年度において減免または猶予した人数と金額、生活保護等支庁別の救済措置必要数についての資料の提出方要求があった。

⑤ 副委員長から、残余の冷害対策については次回委員会において審議すること、冷害対策要望のため中央折衝を実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣時期および派遣委員については、委員長に一任することとした。

○11月18日 午後零時4分、第1委員会室において開議、午後6時15分散会、委員長 西島 順三(自民)

① 委員長から、10月31日要求のあつた「十勝川水系の出水時における被害等」の資料が配付のとおり提出あつた旨を報告。

② 土木部次長から、十勝川水系の出水時における被害等に対するその後の経過および資料について説明を聴取の後、

美濃委員(社会)から、河川改修の年次計画、放流量とダム操作規程の関連について調査の内容、ダム操作の技術的検討の必要性、測候所昇格を促進することの見解、補償対策についての見解

について質疑、意見および要望があり、土木部次長および総務部次長(高橋)から答弁、議事進行の都合により午後零時37分休憩、午後1時46分再開。

③ 委員長から、冷害対策要望のため3班をもつて実施した中央折衝の経過については報告書のとおり了承することをはかり、異議なくそのことに決定。

④ 副知事(三枝)、教育長、商工部長および民生部長から、冷害対策のその後の経過および資料等について説明を聴取の後、

美濃委員(社会)から、政府資金の償還猶予額、

竹内委員(社会)から、ビートパルプの購入の見通し、救農土木事業について大蔵省と農林省の協議の内容、学校給食について一般的なものと冷害によるものとの実施面の調整、

坂下委員(社会)から、制度資金の償還猶予について系統に対する要望の経過、国、道、市町村の行なう救

農土木事業の区分ならびに11月15日配分した支庁別内訳の資料の提出方、組合プロパーに対する方策、

亀井委員(社会)から、国の補助、土地改良等市町村に示した実施要領との食い違い、中小企業売掛金の内容、支庁別給食費の資料の提出方、授業料免除の内容等について質疑、意見、要望および要求があり、農務部長、教育長および商工部長から答弁、午後3時16分休憩、午後3時53分再開。

⑤ 委員長から、冷害対策に関し、知事に対する質疑を行なう旨を述べ、

渡部委員(社会)から、臨時道議会招集についての見解、統計調査事務所との連絡等積極的姿勢がみられないことに対する見解、恒久対策の実施方針についての見解、負債整理対策についての見解および整理の方法、中小企業の金融肩代わりについて議決の必要性、畑作に対し政府の大規模援助の必要性、価格対策についての見解、

竹内委員(社会)から、39年に臨時議会を開いているが、今年との相違点、救農土木事業について思いきつた対策および早期実施方、中小企業融資対策の措置、

美濃委員(社会)から、被害調査に対する見解、負債整理の早急な対策および決意ならびに実施の期日、畑作実験共済に対する道の姿勢、中小企業金融についての考え方、冷害対策の適切な措置、

坂下委員(社会)から、固定化負債整理の実施姿勢、冷害に対する受け止め方および被害調査について姿勢等について質疑、意見および要望があり、知事および総務部長から答弁、ついで、竹内委員(社会)から、臨時議会に対する委員長の所見について発言、委員長から応答。

⑥ 委員長から、冷害対策要望のため中央折衝を実施することをはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、期日については、委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

10月29日降雨による糠平ダム、活込ダムの放流に伴う被害補償等について

十勝川水系糠平、活込ダム放水被害対策委員長

○12月12日 午前11時10分、第1委員会室において開議、午前11時36分散会、委員長 西島 順三(自民)

① 委員長から、11月18日の委員会において要求のあつた資料は配付のとおり提出があつた旨を報告。

② 11月21日からの冷害対策に関する中央折衝の経過について、報告書により報告、異議なくこれを了承。

③ 農務部長、農地開拓部長、民生部長、衛生部長、商工部長、土木部長、林務部長および総務部長から、冷害対策に関するその後の経過について説明を聴取の後、

大石委員(社会)から、各種対策のうち、要請中の見直し

について質疑、総務部長から答弁。

- ④ 総務部長から、第2回臨時会に提案予定の補正予算案について説明を聴取。
- ⑤ 委員長から、委員会の調査経過等について、本会議において中間報告することをはかり、異議なくそのことに決定、委員長報告については委員長に一任することとした。

○12月13日 午前11時40分、第1委員会室において開議、午後4時46分散会、委員長 西島 順三(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第1号(昭和41年度北海道一般会計補正予算)および議案第2号(昭和41年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算)ならびに報告第1号(専決処分報告につき承認を求める件)を一括議題とし、質疑に入り、

亀井委員(社会)から、冷害応急、恒久対策に関連し、(1)自創資金の今次措置に伴う貸付方法について、従来との相違点および効果を考慮しての運用、(2)負債整理に関し、40年3月末資料の固定化負債額350億円の内訳、制度資金の内容ならびに最近の実態に近い数字の早急な把握、(3)被害農家戸数に関し、2月の農業基本調査の数字との食い違い、同一機関における各種調査の矛盾の解消、(4)救農土木事業に関し、これに含まれない第2種兼業農家に対する対策およびできる限りの配慮、市町村起債分に対し前向きで措置する考えの有無および十分な対処、(5)農業気象観測に関し、地域別予報の必要性、観測施設の充実策等についての見解、(6)試験研究機関に関し、充実についての今後の対策ならびに十分な予算措置方等について

質疑、意見および要望があり、知事および農務部長から答弁があつて、午後零時27分休憩、午後1時42分再開、つぎに、

坂下委員(社会)から、(1)酪農地帯に対する対策に関し、具体的対策の明示、長雨による牧草の質的低下被害の調査の有無、飼料対策の内容、各種対策についての指導内容、手厚い生活保護対策の必要性、(2)天災資金、自創資金の融資枠および貸付限度額に関し、要請したものと決定したものの不足分に対する対策、町村、支庁からの要請による対策の考えの有無ならびにこれらについての十分な配慮、貸付限度額70万円としたときの必要資金額、(3)豊富町豊徳部落ほか6部落における初雪融雪および大雨による水害に関し、具体的対策樹立の有無、サロベツ川放水路掘削に起因する災害、国に対する補償対策、改修工事事業計画の内容等に対する見解および調査の有無、関係機関との早期話

し合い方ならびに被害に対する早期措置方等について質疑、意見および要望があり、農務部長および農地開拓部長から答弁があつて、午後2時51分休憩、午後2時59分再開、つぎに、

美濃委員(社会)から、(1)冷害恒久対策についての知事の施政方針に関し、北限における稲作について12月10日の道内紙に発表した見解に対する所信および既存農家を批判し混乱に導くことについての解明、今次冷害は人災的要素があるとの発言について、人災の範囲に対する考え方および不安定経営を人災ときめつけることの可否等、(2)金融対策に関し、自創資金の貸し出し適用範囲等、事務処理に対する指導内容、委託金融機関の貸付基準緩和等に対する道の指導方針、償還猶予に対する指導の内容、(3)負債整理に関し、40年3月末調査後の固定化負債、系統外負債に対する考え方、整理必要額、42年4月までの作業完了見通し、(4)生活保護対策に関し、民生委員に対する指導方針、支庁ケース・ワーカーと市町村との連携、(5)補正予算案に関し、流動する客体に対する予算づけについて、不足する場合上積みする考えの有無等について

質疑、意見および要望があり、知事、農務部長および農地開拓部長から答弁があつて通告の質疑を終結。

- ② 委員長から、付託案件に対する意見調整を各派代表者会議で行なうことをはかり、異議なくそのことに決定し、午後4時9分休憩、午後4時43分再開。
- ③ 委員長から、付託案件に対する各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、議案第1号および議案第2号を原案可決、報告第1号を承認議決することに決定、ついで竹内委員(社会)から、つぎの意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、委員長報告については委員長に一任することとした。
- ④ つぎに、付託された請願、陳情については、閉会中継続審査の取り扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

意 見

- 1 冷害諸対策の実施に際しては、被害農家の実情に即応した適切な措置をとること。このために、資金ならびに予算増額などが必要になったときは、これに対応した措置をとるべきである。
- 2 救農土木事業については、とくにこの事業の本旨に従つて適正に実施すべきである。
- 3 連年災害の実情にかんがみ、恒久的諸対策を早急かつ強力に実施するとともに、農家負債整理のための具体策をすみやかに確立すべきである。

合 会

10都道府県議会議長会

○11月15、16日の2日間 大阪府において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。

- 1 義務教育施設整備費国庫負担率の統一改定について
- 2 私学振興対策について
- 3 老人福祉対策について
- 4 勤労者の通勤途上における交通災害にも労災保険適用について



資 料

第 3 回定例道議会の議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公布番号
北海道立ユース・ホテル条例の一部を改正する条例	10. 12	10. 13	条例第40
北海道営真駒内団地及び大麻団地下水道条例の一部を改正する条例	同	同	条例第41
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例	同	同	条例第42
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	同	条例第43
北海道立農業試験場条例の一部を改正する条例	同	同	条例第44
北海道議会議員の選挙区の特例に関する条例	同	10. 26	条例第45

大 臣 ・ 次 官 一 覧 (41.12.3現在)

大臣	大臣	政 務 次 官	事 務 次 官
内閣総理	佐藤 栄作	山口 2	
法 務	田中伊三次	京都 1	井原 岸高 愛媛 2 竹内 寿平
外 務	三木 武夫	徳 島	田中 栄一 東京 1 下田 武三
大 蔵	水田三喜男	千葉 3	小沢 辰男 新潟 1 佐藤 一郎 丸茂 重貞 参 全国
文 部	剣木 亨弘	参 福岡	谷川 和穂 広島 2 福田 繁
厚 生	坊 秀 男	和歌山 1	松山 千恵子 埼玉 2 牛丸 義留
農 林	倉石 忠雄	長野 1	草野 一郎平 滋 賀 武田 誠三 温水 三郎 参 宮崎
通 産 (万国博担当)	菅野 和太郎	大阪 1	宇野 宗佑 滋 賀 山本 重信 金丸 富夫 参 全国

運輸	大橋 武夫	島 根	金 丸 信	山 梨	若 狹 得 治
郵 政	小 林 武 治	参 静岡	田 沢 吉 郎	青森 2	長 田 裕 二
勞 働	早 川 崇	和歌山 2	海 部 俊 樹	愛知 3	三 治 重 信
建 設	西 村 英 一	大分 2	波 谷 直 哉	福島 2	前 田 光 嘉
自 治	藤 枝 泉 介	群馬 1	伊 東 隆 治	鹿兒島 奄美群島	柴 田 護
行政管理庁長官	松 平 勇 雄	参 福島	浦 野 幸 男	愛知 4	山 口 一 夫
北海道開発庁長官	二階堂 進	鹿兒島 3	木 島 義 夫	参 千葉	堂 垣 内 尚 弘
科学技術庁長官			始 関 伊 平	千葉 1	井 上 啓 次 郎
防 衛 庁 長 官	増 田 甲 子 七	長野 4	長 谷 川 仁	参 全国	三 輪 良 雄
経済企画庁長官	宮 沢 喜 一		金 子 一 平	岐阜 2	中 野 正 一
内閣官房長官	福 永 健 司	埼玉 1	内閣官房副長官	木 村 俊 夫	三重 1
				石 岡 実	(事務担当)
總 務 長 官	塚 原 俊 郎	茨城 2	總 務 副 長 官	堀 秀 夫	
法 制 局 長 官	高 辻 正 巳		法 制 局 次 長	吉 国 一 郎	

11月のメモ

- 1 ○住友奔別鉱(三笠)でガス爆発、16人死亡、4人重軽傷。
- 2 ○明治100年記念行事決まる、43年10月23日に式典、明治の森、青年の船など官民一体で推進。
○道選管、本道の永久選挙人名簿登録者を発表、310万5,727人。
- 5 ○1日内閣開催(札幌)。
- 7 ○経済企画庁、中小企業の整理倒産の原因と倒産後の状況結果を発表、再建不能が33%。
- 11 ○消防庁、41年版消防白書を発表、1日28人が死傷。
- 13 ○全日空機YS11、松山沖にて墜落、乗客ら50人全員死亡。
- 14 ○首相、函館など7地区空港の整備を指示、滑走路2,000メートルに延長。
○道畜産振興審議会、北海道農業近代化計画をまとめる、46年までに乳牛69万頭、牛乳180万トンに。
- 15 ○手稲～銭函間で初の電気機関車走る。
- 17 ○道人事委、道職員給与引き上げを勧告、6.7%のアップ。
- 19 ○日米タラバガニ交渉妥結、日本は16万3,000箱、本年より12%下回る。
- 21 ○L.T貿易第5年度協定に調印(北京)、総額で輸入が減り、輸出本年並み、往復で2億ドル下回る。
- 23 ○青函トンネル調査斜坑、1,000メートルを突破、計画まであと210メートル。
- 24 ○アジア開発銀行創立総会開く(東京)、加盟31カ国でスタート。
○政府、本道の冷害に対し天災融資法、激甚災害法を適用、115億円の融資。
- 28 ○日米、テレビ中継に成功、商業用通信衛星に使用。
- 29 ○道、道内市町村決算見通しを発表、約5億円の赤字、道、人件費圧縮など指導。
- 30 ○第53臨時国会召集、会期12月20日まで21日間。

昭和41年12月20日発行

北海道議会時報 (第18卷
第12号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局